読書の家から

新刊案内

■あぶた読書の家

＜一　般＞▽覚悟の磨き方（池田貴将）▽イスラム国　テロリストが国家を作る時（ロレッタ・ナポリオーニ）▽隠蔽捜査5・5「自覚」（今野敏）▽霧の犬（辺見庸）▽起き姫（杉本章子）▽髪結い伊三次捕物余話「昨日まこと、今日のうそ」（宇江佐真理）▽冷蔵庫を抱きしめて（荻原浩）▽聖地Ｃｓ（木村友祐）▽おれたちの故郷（佐川光晴）

＜児童書＞▽プレゼントの木（いもとようこ）▽ひるねのね（あべ弘士）▽ころわんどっきどき（間所ひさ子／黒井健）▽アンパンマンおはなしるんるんシリーズ（全11巻）

＜ななかまどの会から寄贈本＞▽迷宮ヶ丘シリーズ＜5巻＞（日本児童文学者協会編）▽ねこざかなの絵本シリーズ＜全17巻＞（渡辺有一）

■みずうみ読書の家

＜一　般＞▽田園発　港行き自転車＜上・下＞（宮本輝）▽その女アレックス（ピエール・ルメートル）▽鳩の撃退法＜上・下＞（佐藤正午）▽母の遺産＜上・下＞（水村美笛）▽ようこそ、わが家へ（池井戸潤）▽奇跡の人　TheMiracleworker（原田マハ）▽春雷（葉室麟）▽夢幻（佐伯泰英）▽光圀（佐伯泰英）▽家族という病（下重暁子）

■洞爺総合センター図書室

＜一　般＞▽鋼の女　最後の瞽女・小林ハル（下重暁子）▽暮らし上手のお買いもの　無理なく賢く、選びたい。（エイ出版社）▽そして、星の輝く夜がくる（真山仁）▽恋歌（朝井まかて）▽犬たちの明治維新ポチの誕生（仁科邦男）▽明治維新という過ち　日本を滅ぼした吉田松陰と長州テロリスト（原田伊織）▽黒い看護婦福岡四人組保険金連続殺人（森功）▽カタギ（鳴海　章）▽白狐を斬る（鳥羽　亮）

＜児童書＞▽す～べりだい（鈴木のりたけ）▽でんしゃにのって（とよたかずひこ）

今月の1冊

「ビンチッヒとおともだち」

エルビン・モーザー 作
わかばやしひとみ 訳

両親とはぐれた象のビンチッヒは、豚の両親に育てられていましたが、ひとりぼっちで淋しいので、ある日、砂漠にでかけました。3匹の友達の話。

何かほのぼのとした絵。ちびぞうと様々な動物たちがおともだちに成ってゆく優しい絵本です。

ピノキオ読み聞かせ会

■日　時　7月8日　14時30分

■場　所　あぶた読書の家

●開館時間
10時より16時20分まで

●6月休館日
11日・18日・25日・7月2日・9日
（毎週木曜日・祝祭日休館）

あぶた ☎76-2100
みずうみ ☎75-4702

わたしのうた

短　歌　【あぶた短歌会】　五月定例会

いかにしてこの歳までもと思ひゐる
　虚弱ひ弱といはれし者が　山木　孝

「母の日」は老婆の座となり春日和
　亡き姑偲びてなつかしみ居り　大西　芳子

我が庭の木ぎもそれぞれ老ひゆきと
　我の歳にと合はせてをりぬ　北島　加代

あやめ川の並ぶ古木の葉も茂り
　マイナスイオンを深くすいこむ　太田　智

愛犬と散歩の合間に見上げれば
　桂の木の葉はラブハート型　元田　フジ子

俳　句　【あぷた俳句会】　五月定例会

くっきりと生命線やかしわ餅　菅原　敏子
晴れた日へ父母の想ひや鯉幟　三瓶　修
母の日やカメラに向かう薄化粧　那須　伶子
高野にて耳疑ひし初音かな　矢野　知子
つゆ入は降るか降らぬか雲湿る　小笠原　勇
円空仏御座す古刹の山桜　千葉　征子
桜咲き出しちちははの忌となれり　佐藤　美風

お詫びと訂正
5月号の千葉征子さんの句に間違いがありました。正しくは「白梅の花芽嬰児の爪に似て」です。お詫びして訂正します。